

# 大学3年で一部受験可

## 県教委 全校種対象、人材確保へ

### 教員採用試験

減少傾向にある公立学校の教員志願者確保に向け、県教委は20日、2025年度採用の教員選考試験から、大学3年生の時に一部試験を1年前倒しで受験できる制度を導入すると発表した。学生の負担を分散させるとともに、早い段階で教職への関心を高めてもらう狙い。全国各地の教委が優秀な人材を得ようとさまざまな試験改革を進める中、学生から受験先として選ばれやすくする効果も期待される。

委が教員免許を持たない  
社会人や取得の見込みがない  
学生でも受験でき、免  
許は合格後に取得してもら  
う特別選考を新設するな  
ど、さまざまな改革を進め  
ている。大学3年時受験  
の仕組みも、東京都をはじ

め多くの自治体が導入して  
いる。

県教委も24年度採用者の  
試験から小論文を廃止し、  
大学や大学院から推薦され  
た受験者の試験を一部免除  
する特別選考枠を新設する  
など見直しに取り組んでお  
り、3年時受験も取り入れ  
ることにした。

学校人事課は「3、4年  
生で試験を分割し、より受  
けやすとした。大学での学  
びを豊かにしてほしい」と

している。

20日は24年度採用の教員  
選考試験の状況も発表し  
た。小中学校と高校、特別  
支援学校などを含めた総受  
験者数は前年度比3人増の  
1727人で、合格者は4  
98人。このうち新設した  
「大学等推薦」の合格者は  
71人だった。倍率は採用予  
定者数が増えた影響もあり、  
前年度を0・02倍下回  
る3・5倍だった。

(中里圭秀)

県教委によると、対象は  
小中、高校、特別支援、養  
護の全校種。翌年度に教員  
免許を取得できる見込みの  
3年生が、1次選考の「一  
般教養・教職に関する科目」  
を前倒し受験できるよう  
にする。合格者は翌年度  
以降、この科目が免除され  
て1次選考が「専門科目」  
のみとなる。

機会を提供することで、大  
学2～3年生の段階から教  
職に就くことを考えるきつ  
かけになるーなどとしてい  
る。

背景には教員のなり手不  
足がある。本県の小中学校  
の教員採用試験は、応募者  
数が08年度の1600人超  
から23年度に1076人と  
3割以上減った。高校も08  
年度の700人程度から23  
年度は437人に落ち込ん  
だ。

人材確保は全国的な課  
題となっており、各地の教

期待される効果について  
は①合格した受験生は専門  
教科の勉強や教育実習に専  
念でき、優秀な人材確保に  
つながる②早い時期に受験